

# 令和6年度 シラバス兼授業計画書

学科名	未来創造IT学科	科目名	システム開発		
授業種類	理論	履修区分	必修	履修時期	通年
授業時間	60単位時間	担当教員	野木政延		
授業 内 容	《授業概要》				
	<p>本授業では、システム開発の代表的な開発手法とプロジェクトの各工程の内容及び作成する成果物について理解することを目的としております。また、システム開発のほとんどの現場で使用されている、バージョン管理システムの使い方についても学びます。バージョン管理システムとは、ドキュメントやソースコードなどをバージョン別に管理・変更履歴を保持することで、チームでのシステム開発を効率よく、安全に進めるための重要です。</p>				
	《学習の到達目標》				
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 安全なバージョン管理システムの使い方を理解している。</li> <li>2 システム開発プロジェクトの流れと各工程の詳細、成果物について理解している。</li> </ol>				
授業計画					
前期			後期		
1	ガイダンス	16	システム企画について①		
2	Redmine基礎①	17	システム企画について②		
3	Redmine基礎②	18	要件定義について		
4	Git基礎	19	基本設計について		
5	Gitの導入	20	詳細設計について		
6	バージョン管理実践	21	プログラミングについて		
7	GitHubリポジトリの取得	22	テストについて		
8	ブランチの使用	23	プラットフォーム概念図		
9	複数ブランチを使用したファイル管理	24	要求仕様書		
10	コンフリクトの対応	25	アーキテクチャ設計書		
11	GitHub応用①	26	ユースケース仕様書		
12	GitHub応用②	27	データベース設計書		
13	その他、システム開発で使用するツール	28	システム連携の設計書		
14	前期まとめ①	29	後期まとめ①		
15	前期まとめ②	30	後期まとめ②		
前期試験			後期試験		
教科書 参考書	<p>教科書 ずっと受けたかったソフトウェアエンジニアリングの新人研修 エンジニアになったら押さえておきたい基礎知識 著者：飯村 結香子, 大森 久美子, 西原 琢夫 翔泳社</p>				
成績評価	<p>授業内の専門用語と各装置やソフトウェア等の役割について8割程度理解できることを到達目標とする。 【評価方法】 1.授業態度 20% 2.前期試験と後期試験 80%</p>				
履修上の 留意点	<p>PCを使用した実習を含むため、以下の推奨スペックを満たすPCが必要です。お使いのPCが以下の推奨スペックを満たしていない場合、スムーズに学習を進める事ができない可能性があります。 要件) OS: Windows8 / Windows10 / Windows11 CPU: インテルcore i5以上、メモリ: 8GB以上、ハードディスク: 256GB以上</p>				